

研究室訪問（2年生対象） ～大学での研究活動をより具体的に知る～

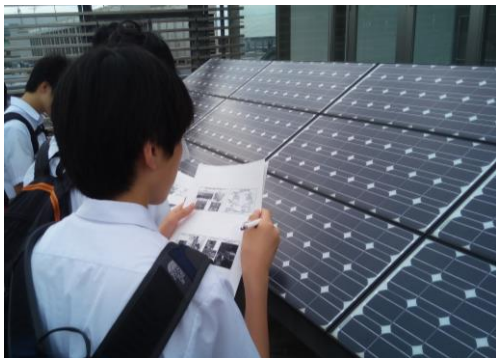
7月12日（水）午前中の授業を終え、連携協定を結んでいる摂南大学を訪問しました。

本校2年生の希望者だけに特別に時間を割いていただき、2つの研究室を訪問させていただきました。また、それぞれの学科に進学した卒業生とも交流することができ、たいへん有意義な時間を過ごせました。

（1）理工学部 電気電子工学科 堀内利一教授〔電気電子工学科〕電気エネルギー工学研究室
最初に、電気電子工学科の堀内先生の研究室を訪れました。

研究室に到着すると、堀内先生と学部生で本校電気系卒業の方に、歓迎してもらいました。

20万Vの雷サージを測定したり、除去する研究について、普段の研究（室）生活をオープンにお話ししていただきました。また、屋上に上がり、太陽光発電の研究についても、高校生に分かりやすく説明していただきました。



（2）理工学部 機械工学科 安田正志教授〔機械工学科〕振動制御研究室

続いて機械工学科の安田先生の研究室を見せていただきました。

こちらでは地震の揺れを限りなくゼロに近づける為の研究について、説明していただきました。空気の圧力を使い、揺れを低減するための実験を実際に行っていただきました。生徒たちも、空気のかで、1㎡あたり10tonの物を浮かすかにびっくりした様子でした。

（3）卒業生との交流・・・いろいろなお話をしていただきました。（抜粋）

《資格について》

電気系卒業で、現在4回生、すでに大手電気メーカーに就職が内定した先輩からは、電験3種、電気工事士、電気施工管理士などが大切です。大学では基本的に自分で勉強して資格を取るの、電気工事士などは淀工で取っておいた方がいいです。

《大学での勉強について》

工学系卒業で、現在1回生の先輩からは、高校の時には大学での勉強についていけるか心配だったけど、英語や数学など、高校で習ってきたことがそのまま生きるの心配ありません。大学での実験実習も、引張試験やエンジンの分解・組立など、工具の使い方を含め、高校での経験があるので、自信をもって行うことができます。